令和４年度全国自衛隊剣道大会の開催について

清秋の候、各部隊においては、任務を遂行しつつ剣道の稽古を続けられていることと思います。

　新型コロナウイルスによるパンデミックの影響で、全国自衛隊剣道大会は令和元年度第４５回大会以降、令和２年度から中止を余儀なくされてきましたが、ようやく収束の兆しがみえるようになりました。これに伴い、各種の全国自衛隊大会や自衛官が中心となって参加する大会が再開されつつあります。このような状況から、今年度の全国自衛隊剣道大会の実施についての検討をおこなってきましたが、先日実施した役員会において「令和４年度第４８回全国自衛隊剣道大会」を令和５年２月１８日（土）に実施することに決定しました。

しかしながら、新型コロナウイルスが完全に収束したわけではなく、第８波の流行も懸念されることから、今年度は例年と異なり開催期間を１日に短縮して実施することにしました。このため、試合は団体戦と個人戦女子の部のみとし、個人戦男子６段以上の部と５段以下の部は実施しないことにしました。個人戦女子の部については、団体戦のみの場合、女性剣士の活躍の場が少なくなることから、今年度も実施することにしました。

個人戦を目指して稽古されてきた方や個人戦のみの参加を検討していたチームもあると思いますが、新型コロナウイルスの感染が完全収束していない状況での開催であり、３年ぶりの大会の確実な実施と、大会期間中に感染者が発生した場合のリスクを考えて、最少日数での開催としたことをご理解ください。

また、大会が１日となったことから、大会役員・審判は、宿泊を必要としない関東地区に在住する方々にお願いすることにしています。

今年度は制約下の大会となりますが、選手の皆様にはこれまでの稽古の成果を存分に発揮していただき、素晴らしい大会となることを願っております。

尚、大会の細部実施要領については、別途連絡します。

令和４年９月２８日

　　　　　　　　　　　　　全国自衛隊剣道連盟会長　　杉　本　正　彦